



「ポリシネルの祭り・サンマルコ広場」 200 × 300 cm

ギャラリーためなが創業の地・銀座のフィナーレを飾る展覧会

画商 爲永清司が育てた ポール・アイズピリ展

2025年7/12(土) – 8/17(日)

オープニングレセプション 7/12(土) 16:00-18:00



1957年 爲永清司とポール・アイズピリ

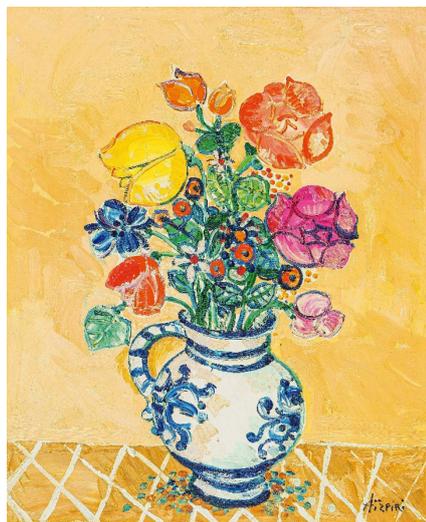
このたび、ギャラリーためながは2025年7月12日(土)–8月17日(日)まで「画商 爲永清司が育てたポール・アイズピリ展」を開催いたします。当画廊は1969年の開廊以来56年にわたり、銀座より数々の名品をご紹介してまいりましたが、今年の夏を限りに銀座での活動に終止符を打ち、新たに南青山・骨董通りに移転する運びとなりました。本展は銀座で最後の展覧会として、当画廊創業者・爲永清司(1932-2025)と作家ポール・アイズピリ(Paul AÏZPIRI, 1919-2016)の約60年にわたる交流に焦点を当てながら、アイズピリが生み出す愛と幸福に満ちた作品、初期から晩年まで約35点を展覧いたします。

当画廊の開廊当時、日本には印象派の絵画は紹介されているものの、École de Parisの作家をはじめ、その次世代のヨーロッパ絵画は未だ認知されていない時代でした。爲永清司はそれらの作家の名作を日本の美術館やコレクターにおさめ、また同時に現代の作家達を発掘して世に送り出すことを何よりの使命としていました。その作家のなかの一人がポール・アイズピリです。1957年のパリでの出会いから親交を深め、1969年の当画廊開廊時には契約作家として開廊後初となる個展を開催。以後、当画廊全店舗で60回以上の個展、3000点以上の作品を国内外にご紹介してまいりました。頻りにアイズピリのアトリエを訪れた爲永の導きで作風は豊かに広がり続け、80年代には濃密な色彩と単純で力強い形象に満ちた画風を確立。2000年代の晩年には画面は明るさと軽やかさを増し、人物や自転車が宙を舞う自由な遊び心に満ち満ちた様式をも開花させます。現在アイズピリが得ている世界的な評価は二人の絆の証といえるでしょう。

開廊以来、東京店では約30回におよぶアイズピリ展を開催してまいりました。その結びとなる本展を美術史の節目の一つとしてぜひご覧いただきたく、ご案内申し上げます。

ポール・アイズピリ (Paul AÏZPIRI, 1919-2016)

1919年パリ生まれ。バスクの血をひく彫刻家を父に持ち、その恵まれた環境の中で幼少期より絵を描き始める。17歳でパリ美術学校へ入学、24歳でパリにて初個展を開催、26歳でサロン・ドートンヌの会員に推挙されるなど、若い頃より高い評価を獲得。彼の作風は、大胆なまでに単純化された筆遣いと、あふれるばかりの豊かな色彩によってその自由闊達な画風は益々円熟味を増していった。アイズピリは世界中のコレクターに長きにわたり愛好され、その作品はパリ市立美術館、パリ国立近代美術館などフランスを代表する美術館をはじめ、ベルギー、オランダ等、欧米各地の美術館に収蔵されている。日本では山形美術館や尾道市のなかた美術館(別名:アイズピリ美術館)等に収蔵されている他、ホテルニューオータニ(東京・博多)のホール壁面を飾るフレスコ画が有名。



左) ポール・アイズピリ
中央) 「花束」73 x 61 cm
右) 「フルーツコンポート」54 x 65 cm

爲永清司×アイズピリ



1957年

1957年、藤田嗣治に伴われ訪ねたパリのペトリデス画廊にてアイズピリを紹介される。この時アイズピリ38歳、爲永は若干25歳。

1969年、銀座にギャラリーためながを3月に開廊。アイズピリは画廊と専属契約を結び、開廊後初となる個展を7月に開催する。以降ギャラリーためながでは銀座、大阪、パリを合わせると個展は60回以上を数える。

爲永はパリのアトリエや、ゲタリー、ポーヴァロンの別荘も頻繁に訪ね、制作のアドバイスをを行うなど親交を深めた。



2009年

2009年、アイズピリの90歳を祝う誕生日会を爲永が企画し、盛大に行われた。この頃爲永の発案によりモチーフが空を舞い遊ぶ新たな作風が誕生する。開廊からの約半世紀に、爲永が日本に紹介した作品点数は実に3000点以上にも及ぶ。



1991年



「水差しのある静物」46 x 55 cm



「ハートのエース」100 x 100 cm

ギャラリーためなが東京店 移転オープン

ギャラリーためなが東京店は、今秋より新たなアートの発信地として、展示スペースを従来の3倍に広げ、南青山・骨董通りに移転いたします。

当画廊は1969年、東京・銀座に近代絵画の巨匠から現代美術までを扱う画廊として誕生し、以来56年間日本中の美術館及び蒐集家に名品の数々を紹介してまいりました。1971年にパリと大阪に、2021年には京都に4店舗目の画廊を開きましたが、この度発祥の地銀座から新天地への移転となりました。

この度骨董通りに誕生する新店舗では移転オープンを記念し、現在当画廊で活躍する作家総勢20名がこの機会に特別に描いた作品を展示する展覧会を開催いたします。どうぞご期待ください。

【新店舗情報】

オープン日：2025年秋

新住所：〒107-0062

東京都港区南青山6-5-39（骨董通り）

時間：月・土 11:00-19:00 / 日・祝 11:00-17:00



イメージ画像

【展覧会概要】

画商 為永清司が育てたポール・アイズピリ展

会期：2025年7月12日（土） - 8月17日（日）

オープニングレセプション 7月12日（土）16:00-18:00

会場：ギャラリーためなが

時間：月・土 11:00-19:00 / 日・祝 11:00-17:00

公式サイト：www.tamenaga.com

【お問い合わせ】

ギャラリーためなが

東京都中央区銀座7-5-4

TEL：(03) 3573-5368

E-mail：m.takahashi@tamenaga.com

担当：高橋